

ご案内

子どもの権利条約 20 年&子どもオンブズ 10 年

子ども支援学シンポジウム 2009 「子ども参加を考える」

主催 子どもオンブズパーソン研究会
子どもの権利条約総合研究所
子ども情報研究センター

1989 年 11 月に子どもの権利条約が国連で採択されて 20 年、そしてこの条約を具体化するための日本で最初の子どものオンブズパーソン制度が、川西市で 1999 年 4 月に創設されて 10 年——これらの文脈をとおして、いま子どもの「参加 (participation)」は、これまで以上に重要なキーワードとなってきました。

「子ども参加」は、多様な場面や状況において語られ、またそれに伴って「子ども参加」の方法や実践も、さまざまな試みが見られます。しかし現状においては、「子ども参加」の意味や意義、その理解は、必ずしも広く共有されているとはいえません。

そこで、本シンポジウムでは、シンポジストそれぞれの「子ども参加」をめぐる経験や視点を交流しあい、それがどのような状況で、どのように語られているのか／語りうるのか、あらためて子ども参加の意味と方法をめぐって、考えてみたいと思います。

なお、本シンポジウムでは本年 6 月の G8 サミットに先立ってイタリアで開催された「子どもオンブズ 8 サミット」の報告も予定しています。

□日 時 2009 年 10 月 24 日(土) 13:20 開会～17:00 閉会 (受付 13:00 より)

□会 場 千里金蘭大学 大阪梅田キャンパス(裏面地図参照) 3 階・講義室

□日 程

○開会にあたって 瀬戸則夫 (子どもオンブズパーソン研究会代表・弁護士)

○特別報告「子どもオンブズ 8 サミット (2009. 6. 28 イタリア・ヌオモ)」

川西市子どもの人権オンブズパーソン 代表代行 桜井智恵子

シンポジウム(14:00-17:00) 「子ども参加を考える — その意味と方法をめぐって」

○シンポジスト 荒牧重人 (子どもの権利条約総合研究所事務局長／山梨学院大学法科大学院)

伊東静香 (NPO 法人北摂子ども文化協会)

桜井智恵子 (川西市子どもの人権オンブズパーソン／大阪大谷大学)

浜田進士 (関西学院大学)

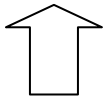
○コーディネーター 吉永省三 (千里金蘭大学)

○閉会にあたって 田中文字子 (子ども情報研究センター代表)

□申込と参加費 裏面申込書で子ども情報研究センターまで FAX またはメールで。500 円 (当日)

本研究会に関するお問い合わせ等は ☞ 子ども情報研究センター

TEL06-4708-7087 FAX06-6577-1893 E-mail : info@kojoken.jp



FAX 送信方向

ふりがな			
お名前			
所属			
TEL		FAX	
備考			

社団法人子ども情報研究センターとは――

会員の参画により、子どもの権利擁護をめざして、子ども専用電話、子育て家庭の電話相談・面談相談、親と子のふれあいひろば、機関誌『はらっぱ』の発行など、様々な活動をしています。子どもの人権に思いをよせる方ならどなたでも会員になっていただけます。ホームページ <http://www.kojoken.jp> ブログ <http://www.hnpo.comsapo.net/kojoken/>

千里金蘭大学大阪梅田キャンパス（金蘭会中学高等学校内） 大阪市北区大淀南 3-3-7

JR環状線「大阪駅」下車、徒歩 15 分／JR環状線「福島駅」下車、徒歩 8 分／JR東西線「新福島駅」下車、徒歩 10 分／阪神電車「福島駅」下車、徒歩 10 分。



申込書 FAX 06-6577-1893